

平成 27 事業年度

収 支 予 算 書

日本中央競馬会

平成27年度予算総則

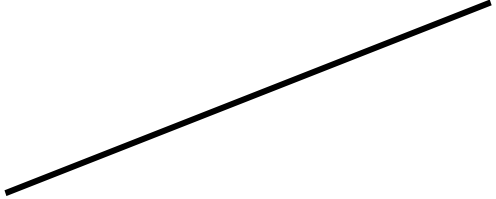
- 第1条 日本中央競馬会（以下「競馬会」という。）の平成27年度収入支出予算を2,510,937,480千円と定め、この収入支出予算には、一般勘定（投票券勘定、業務勘定、新営勘定）及び特別振興資金勘定を設け、各勘定の収入の性質及び支出の目的別の項、目の区分は、収入支出予定計算書による。
- 第2条 競馬会は、予備費を使用しようとする場合には、農林水産大臣の承認を受けなければならない。
- 第3条 競馬会は、投票券勘定の各目の経費の金額を各目相互間に流用しようとする場合、業務勘定の各目の経費の金額を各目相互間に流用しようとする場合又は新営勘定の各目の経費の金額を各目相互間に流用しようとする場合には、農林水産大臣の承認を受けなければならない。
- 2 競馬会は、前項の規定にかかわらず、（項）競馬事業費（目）お客様事業費及び（目）広報費の経費は、経営委員会が認める場合に限り、（項）競馬事業費の各目より流用を受け、または相互に流用し、その金額を変更することができる。
この場合においては、流用の決定後は、遅滞なく、農林水産大臣に報告しなければならない。
- 第4条 競馬会は、新営勘定及び特別振興資金勘定について年度内の支出を終らないときは、同一計画事項（未契約経費を除く。）の場合に限り、経営委員会の議決を経て、予算の残額を翌年度に繰越して使用することができる。
- 第5条 競馬会は、勝馬投票券の発売金がこの予算において予定した金額に比して増加した場合等により投票券勘定の（項）勝馬投票券諸支払金（目）払戻返還金及び補てん金、（項）国庫納付金（目）国庫納付金及び（項）他勘定へ繰入（目）業務勘定へ繰入の支出額が増加して予算額に不足を生じたときは、その不足額を限度としてその収入をこれらの経費に充てることことができる。
- 2 競馬会は、業務勘定の（項）他勘定へ繰入（目）新営勘定へ繰入が、予備費の使用によりこの予算において予定した金額に比して増加したときは、その増加した金額を限度として、新営勘定のうち（項）繰入収入（目）業務勘定より受入の金額と（項）新営費（目）施設費又は（目）電算費の金額をそれぞれ増加することができる。

- 3 競馬会は、競馬法附則第5条に定める1号給付金及び2号給付金の交付に関して、農林水産大臣の認可を受けた競走に係る勝馬投票券の売得金とその認可時において予定した金額に比して増加した場合等により、特別振興資金勘定の（項）払戻金上乗せ費（目）払戻金上乗せ費の予算額に不足を生じたときは、その不足額を限度として特別振興資金をこの経費に充てることができる。
- 第6条 競馬会は、業務勘定の（項）第二国庫納付金（目）第二国庫納付金の予算額に不足を生じたときは、その不足額を限度としてその収入をこの経費に充てることができる。
- 第7条 競馬会は、栗東トレーニング・センター調教スタンド改築工事のため、2,364,680千円を限度として、平成27年度以降3カ年にわたり支払うための契約を結ぶことができる。
- 2 競馬会は、統合情報システム最適化対応開発のため、2,057,450千円を限度として、平成27年度以降2カ年にわたり支払うための契約を結ぶことができる。
- 3 競馬会は、LeapにおけるJARISデータ検索機能追加開発のため、122,007千円を限度として、平成27年度以降2カ年にわたり支払うための契約を結ぶことができる。
- 4 競馬会は、JARISⅢオープン化開発のため、3,112,560千円を限度として、平成27年度以降2カ年にわたり支払うための契約を結ぶことができる。
- 5 競馬会は、事務系システム統合IT基盤統合準備開発のため、204,336千円を限度として、平成27年度以降2カ年にわたり支払うための契約を結ぶことができる。
- 6 競馬会は、EMS統合IT基盤統合準備開発のため、207,900千円を限度として、平成27年度以降2カ年にわたり支払うための契約を結ぶことができる。
- 7 競馬会は、EMS端末機器更新開発のため、181,764千円を限度として、平成27年度以降2カ年にわたり支払うための契約を結ぶことができる。
- 8 競馬会は、即PATシステム統合・2拠点化対応開発のため、1,226,611千円を限度として、平成27年度以降3カ年にわたり支払うための契約を結ぶことができる。
- 9 競馬会は、IPATシステム更新開発のため、250,668千円を限度として、平成27年度以降2カ年にわたり支払うための契約を結ぶことができる。

- 10 競馬会は、Club A-PATシステム更新開発のため、472,824千円を限度として、平成27年度以降2カ年にわたり支払うための契約を結ぶことができる。
- 11 競馬会は、JRAダイレクトシステム更新開発のため、1,129,788千円を限度として、平成27年度以降2カ年にわたり支払うための契約を結ぶことができる。
- 12 競馬会は、IPAT投票画面等リニューアル対応開発のため、1,461,240千円を限度として、平成27年度以降2カ年にわたり支払うための契約を結ぶことができる。
- 13 競馬会は、トータリゼータシステム新規機能追加開発のため、1,389,960千円を限度として、平成27年度以降3カ年にわたり支払うための契約を結ぶことができる。

収入支出予定計算書

一般勘定

科 目	26年度予算額	27年度予算額	備考
(投票券勘定) 一項 勝馬投票券収入 一目 勝馬投票券収入 	千円 2,346,027,210	千円 2,428,601,610	
投票券勘定収入合計	2,346,027,210	2,428,601,610	

科 目	26年度予算額	27年度予算額	備考
	千円	千円	
一 項 勝馬投票券諸支払金			
一 目 払戻返還金及び補てん金	1,756,178,600	1,829,043,900	
二 項 国庫納付金			
一 目 国庫納付金	233,659,700	241,940,800	
三 項 他勘定へ繰入			
一 目 業務勘定へ繰入	356,188,910	357,616,910	
投票券勘定支出合計	2,346,027,210	2,428,601,610	

科 目	26年度予算額	27年度予算額	備考
	千円	千円	
(業 務 勘 定)			
一 項 他 勘 定 より 受 入			
一 目 投 票 券 勘 定 より 受 入	356,188,910	357,616,910	
二 項 事 業 収 入	8,615,694	10,397,312	
一 目 入 場 料 等	4,220,225	4,269,948	
二 目 登 録 料	847,678	847,719	
三 目 育 成 馬 売 却 代	571,941	702,348	
四 目 地 方 競 馬 発 売 業 務 受 託 料	2,101,630	3,683,712	
五 目 競 走 馬 治 療 代	874,220	893,585	
三 項 事 業 外 収 入	5,938,248	5,571,664	
一 目 借 入 金	0	0	
二 目 利 息 収 入	1,703,738	1,627,538	
三 目 施 設 貸 付 料 等 諸 収 入	4,234,510	3,944,126	
業 務 勘 定 収 入 合 計	370,742,852	373,585,886	

科 目	26年度予算額	27年度予算額	備考
	千円	千円	
一項 競馬事業費	170,018,818	171,085,694	
一目 開催費	119,136,969	118,789,712	
二目 公正確保費	4,690,571	4,718,760	
三目 お客様事業費	8,294,854	8,615,230	
四目 広報費	13,595,522	14,636,819	
五目 環境整備費	11,309,552	11,214,590	
六目 国際交流費	834,344	835,707	
七目 厩舎関係者養成費	8,395,795	8,415,115	
八目 生産育成対策費	1,825,890	1,900,652	
九目 馬事等振興費	1,935,321	1,959,109	
二項 競走事業費	119,721,000	122,852,000	
一目 競馬賞金	80,516,000	82,375,000	
二目 競走馬事故見舞金等	14,656,000	15,043,000	
三目 競走馬管理諸費	24,549,000	25,434,000	

科 目	26年度予算額	27年度予算額	備考
	千円	千円	
三項 業務管理費	58,236,997	58,593,634	
一目 役員給与	18,093,020	18,065,745	
二目 福利厚生費	9,113,094	8,677,875	
三目 管理事務費	14,648,506	14,770,546	
四目 営繕費	14,873,902	15,347,906	
五目 調査及び研究開発費	1,508,475	1,731,562	
四項 事業外支出			
一目 借入金返済金及び利子	0	0	
五項 第二国庫納付金			
一目 第二国庫納付金	7,000,000	11,000,000	
六項 予備費			
一目 予備費	8,000,000	5,000,000	
七項 他勘定へ繰入			
一目 新営勘定へ繰入	7,766,037	5,054,558	
業務勘定支出合計	370,742,852	373,585,886	

科 目	26年度予算額	27年度予算額	備考
	千円	千円	
(新 営 勘 定)			
一 項 繰 入 収 入	47,023,552	55,521,452	
一 目 業 務 勘 定 より 受 入	7,766,037	5,054,558	
二 目 資 産 充 当	39,257,515	50,466,894	
新 営 勘 定 収 入 合 計	47,023,552	55,521,452	

科 目	26年度予算額	27年度予算額	備考
	千円	千円	
一 項 新 営 費	47,023,552	55,521,452	
一 目 施 設 費	28,549,973	36,566,103	
二 目 電 算 費	18,473,579	18,955,349	
新 営 勘 定 支 出 合 計	47,023,552	55,521,452	

特別振興資金勘定

科 目	26年度予算額	27年度予算額	備考
	千円	千円	
一項 特別振興資金取崩収入			
一目 特別振興資金	10,650,000	15,900,000	
特別振興資金勘定収入合計	10,650,000	15,900,000	

科 目	26年度予算額	27年度予算額	備考
	千円	千円	
一項 競馬振興事業費			
一目 競馬振興事業費	2,200,000	5,500,000	
二項 畜産振興事業費			
一目 畜産振興事業費	1,800,000	3,000,000	
三項 払戻金上乗せ費			
一目 払戻金上乗せ費	4,500,000	5,000,000	
四項 競馬法附則第8条 第2項による交付金			
一目 競馬法附則第8条 第2項による交付金	2,150,000	2,400,000	
特別振興資金勘定支出合計	10,650,000	15,900,000	